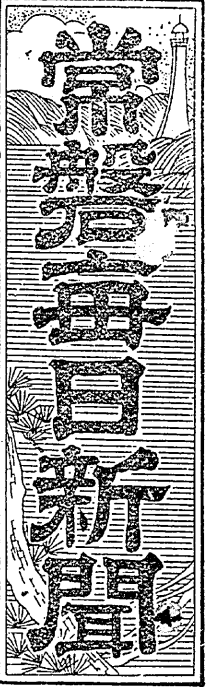


刊夕日七月二十



定額 一部金五銭 一月金五拾銭 郵費五厘  
廣告料 五銭以上 諸行金五拾銭  
日曜祭日の翌日休刊  
発行所 常磐毎日新聞社  
印刷所 常磐毎日新聞社  
電話 六二〇  
印刷部 常磐毎日新聞社

### 一〇〇〇哩を 駆けて

清交會 登良 夫生

(四)

浄ヶ池は六坪と二坪ばかりの小池なれど池中より湧出する温泉は透明にて、これに遊泳するは毒魚と稱し一見黒鯛に似て悠々たる游泳の様は正にこの池中の帝王たり。

昨年までこれと同棲せし一貫八百石程の大鰻は毒魚と戦ひその鋭利な歯刃にかけられ、今はアルコール漬となり、居れど當時の英姿物凄き格闘の様を偲ぶに足る。

九時伊東をあとに富士の秀峯を控へ前面御神火大島を望む東津第一の川奈ゴルフ場を左にみ日蓮岬にまたぐ間熱川稻杉柿満を送り迎へて唐人お吉にて有名な伊豆半島の尖端詩の町下田港につく。

岡に森に清楚たる乙女椿は笑い顔にて行人の秋をひく。

下田港の入口柿崎辨天に詣ず。

凝塊岩の小島にして小宮あり、安政二年二月廿七日長洲の志士吉田松陰とその門下生の金子重輔が國禁を犯し折から淀泊中なりし外

船にて密航せんとしたるも果さず與力近藤良次に捕へられ安政二年正月十七日重輔は獄中に病死し、松陰は同六年十月廿七日刑せらるしと。松陰獄中の歌に

世の人はよしあしこと  
も言はば言へ賤が誠は  
神ぞ知るらん

下田廣岡町に松陰の旅宿たりし所ありて吉田松陰驛寓の碑あり。

玉泉寺は安政三年八月ハリスを最初の領事館と定め領事館旗掲揚の地なり。

ハリスのお吉ヒュースケン(通譯官)のお福は毎日下田より此處まで通つた。

お吉がコンセル通ひに來つたと云ふ傳説は了仙寺と云へる寺の本堂にある。

腰掛籠は半汚ちいと租末なるものなれど當時はこれ

### ノート

人間の血液は毎時七哩即ち一日百六十八哩體內を循環する一年には六萬一千哩を旅行する勘定だ

にても雅を誇りランシャメンとして如何に送迎の世人を睦若たらしめた事であらうか。下田開港當時下田藝妓

お吉は十七歳の若き身にて幕吏の懇請もだし難く在留中の米國總領事ハリスの侍

妾となり周圍より唐人お吉

と賤稱されしも垂帳の内に幾多の國家難吳を緩和する所があつた。

交渉に條約に毛唐人の鼻を談み牽制したるは柔よく剛を制したるものと云へやう、後別離變轉流浪の旅に出で明治の中頃河内に没すも當時のお吉を偲んで誰か

【朝】 すまし汁 小柴しらすばし

【晝】 わん—そば したちねぎ みちん おろし生姜

【晚】 天ぶら—むつえび 貝桂 ちうし 大根合せ 醬油

一箇の涙なきを得ん。下田寶福寺境内に日米親善に大功ありし俠妓として松竹會社の手に成る莊麗なる唐人お吉の墓がある了仙寺は日蓮宗の刹寺にして嘉永七年五月に黒船渡來の米國使節ペルリが幕府方林大學頭と茲に會見し下田條約十三ヶ條を締結されたる地なり。元和元年下田の代官にて私財を抛つて武ヶ濱防波堤を築きし今村氏三代の墓があるまた右寺には〇〇崇拝研究俱樂部なるものもあり、これを研究せんとし時余に互り懸河の辨を振ふ。

### 耳鼻咽喉科専門 鈴木醫院

醫學士 鈴木正男  
平町田町(電話五八番)  
藤田女學校前

自炊のお需めに應ず  
入院の便あり

### 時計ト蓄音器!

東京音頭 唄 勝太郎  
千鳥格子 市太郎  
丹下左膳 勝三郎  
じねじよ 二吉

其他流行唄各種入荷致しました。

### 金光堂

日本に唯一つの魂這入つた

### 東京工場

### 聯盟の自轉車

指定販賣所 フタバ商會  
平新川町・橋際

感じの良! 客に親切な...

藥種賣藥、工業藥品  
衛生材料、各種染料  
化粧品、其他

### 阿部藥舖

平・田町(松月堂向)

### 木村病院

婦人科 院長 木村寅次郎  
外科 醫學博士 内木宗八  
藥局 藥劑師 立番彌一

平町新川町十九  
入院隨意 病室完備  
電話一六四番

### 阿康藥舖

男女安全豫防藥 新發賣 志のぶ錠

しのぶ錠は花柳病の豫防藥たるのみならず〇〇〇の外コシケ、子宮、内膜炎、膿加答兒並に婦人〇部の癢痒等の治療の目的に用ひられる事でも〇〇〇の豫防と治療の二重奏をなします

專賣所 阿康藥舖  
平古鍛冶町(電話四四番)

妊娠を望む方は使用すべからず

### 玉屋洋品店

平町田町通電話六五六番

### 中村齒科醫院

平町鍛冶町七

# 愈よ十日から

## 警察力を動員

### 本年は特に銀行を警戒 夜は密行網

師走も迫つて来たので平警察署では愈よ来る十日から全署員の全能力を動員し犯罪防止週間の開始と相待つて水も洩らさぬ年末警戒に當る事となり目下横山署長の手許で具体案を製作中であるが各地に銀行ギャングの横行する折柄である爲め本年は特に銀行郵便局停車場を始め重要會社商店等に私服刑事を配し他方夜間は常に密行網を張り萬全を期する事になつて居ると

### マーケット取拂

#### 平町が訴訟提起

敷地を他に拂下ぐる爲め

平町會は来る十一日午後一時より開き八年度歳出更正豫算並にマーケット建物取拂ひ訴訟提起に關する件及び寄附採納、町部認定の件に就いて附議すると因にマーケットの取拂ひは同敷地を平陽女學校主に貸與しありし敷地代永らく未納となつて居り敷地の譲渡方を交渉せるもラチ明かず止むなく同敷地を他に拂下ぐる爲め先づ障害となるマーケット建物の撤去を迫るに至つたものであると

### 學童移動

#### 器具類移管

平町各小學校長及び町役場

### 植田署が

#### 新廳舎に

十三日移轉

過般來工事中であつた植田警察署廳舎は今般漸く竣工したので来る十七日午前十時より盛大に落成式を舉行するが十三日午前八時には新廳舎に移轉すると

### 新小切手法實施

#### 使用上の諸注意

商工研究會で武川教諭講演

平商業學校第十一回商工研究會例會今は七日午後七時より町役場議事堂に於て開かれ武川教諭の「新小切手法實施に就いて使用上の注意」と題する講演がある

### 大和田氏歸校

石城 教育部會より派出され十日

### 橋梁改良

本郡の分

本縣より明年度橋梁架設工

な—んだ—であべこべに「怪しからん、日本の總人口が一人足りなくなつたでないか」と散々しぼられドド科料二圓の罰金に處された。

### 早く嫁取てくれ

「おとさ、おとさはナンボの時おかさをヨメにもらつたんだけす」——秋田市西根小屋町小室芳造は三十

五にもなるのに父はいつかな嫁をもらふてくれる氣配もないので、遠まはしに催促するのだが本村のおとさ

### 磐女に宿泊して

#### 女教員實務講習

じふから開講さる

既報來る十日迄磐女校に於て本縣主催の下に開催される演三郡女教員の實務講習會は本日午前八時より開始されたが講習生は十日迄同校作法室に宿泊自炊する事になつて居る

### 第三次運動

平第三小學校では来る十三日午前九時より同校々庭に於いて月次運動會を催すと

### 常設館たより

平、館、日活特作時代劇 杉山昌三九、鳥羽陽之助 共演「白浪れんじ格子」バナー社特作フイリスフエ

### 平町人事

△新川町三二 高野正次氏 長女禮子

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に讀める

川崎 文庫 電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

自由の讀める

川崎 文庫

電六三〇番

渡邊村高橋 上小川村下 田橋 上遠野村根岸橋

事としてコンクリートに改められる本郡の分左記の如くである

中須町信義妻森すい(三)の 兩人は別々に自殺の目的で 三原山は赴き危ふい所を助 けられて大島署に保護され てる中すつかり意氣投合此 世へ轉向を誓つてそれ／＼ 故郷に送り返されたが死に たい二人は死出の旅路も道 づれとしめし合はせ手に手 を取つて心中すべく日光に 來たとをちよつと待て ず！と生き行くにもまゝな らずこの世へ送り返されて しまつた

豊橋市山向町宮本幸二 (三)は近所のタバコ屋にタバコを買ひに行き、入口に傘を置いてまづ一ぶく中同じくタバコを買つてゐた東田町和助三(三)が間違へて宮本の傘を待つて行つたので短氣の助三はカン／＼になり「おい若いこの間も湯屋で間違へたぢやないか氣をつけるツ」ポカリ「たつた一ツのポカリで重傷を負はせ所轄署で取調べられてゐる。

### 新流行シヨール

今冬の流行を代表

する斬新な柄……

ツルヤ

平四・電話一四〇番

### 長唄 花柳流 舞踊

御稽古を おすゝめ 致します

平町 花柳舞踊流 町田七二 研究所

花柳徳三郎 杵屋十茂代

# 仲々以つて

## 舊套は脱せぬ

### 徹底せぬ磐中の外套禁止 大井川少佐語る

磐城中等学校では配属將校大井川少佐の發意によつて此程五年生に對し外套の着用禁止を申し渡したが生徒の中には「寒さを凌ぐ爲めに外套を着るの何が悪い」と憤慨して不平を披ち通學途中は依然として着用し學校附近で申譯的に脱ぐ者等もあり此の禁止が未だ徹底的に勵行されて居ない模様である、因に右に關し大井川少佐は語る

「いそしむのが當然である、まして外套の着用禁止は當地方の如く比較的溫暖の地では生徒の保健に何等影響するところはないと思ふ、斯くする事によつて本校生徒の剛健な氣象が養成され得ると信じて斷行したもので一部生徒が不平を唱へてゐるとしても彼等が私達の眞意を察して呉れるなら直ぐ了解する事であらう何大した事はないよ……」

# 豊作のカゲに

## 悩む農村の悲哀

### 農家の懐ろを覗く

石城の農家は稀れな豊作に外見はホク／＼らしいが其實目下の米價はデリ安となつてきておりそれに前二ヶ年にわたる不作凶作でたのしんでゐた債主の活躍と相まつて賣却したくない米を賣つてゐる状態でこれら種々なものが豊作のあはたしい世相となつて町に農村に描かれてゐる、いまある農家に

### 最近の 懐具合をきく

今年には豊作で景氣が、なつていふことをきかすが私たちが農家にとつてはさつぱり好景氣來でもありませんよ、いまの米の安いときに今後値上る豫想もあるのに借金の請求激しく、せめにせぬかかれて仕方なく泣き／＼町へだすわけなんです、

握つたわづばかりの金は政府米代金それに叔代やれ肥料代と羽の生へたやうにどびたつて結局零となつてしまふのですよ

# 佐藤一氏

## 満鮮視察談

十三日會の講演、平町十三日會例會は來る十三日午後七時よりマルトモホールに於て開き内郷高坂校長佐藤一氏の満鮮視察談

# 食肉量減る

### 景氣好轉を唱へられる折柄

## 不思議な現象

平屠場に於ける十一月中の屠畜数は牛十七頭、豚七十二頭、馬百五十九頭、合計二百四十九頭で昨年の同期に比し牛一頭、豚十二頭、馬百三頭、合計百十六頭の激減を示し景氣好轉を唱へられてゐる折柄不思議な現象を呈してゐる

小野君が合格 既報 去月二十九日出發した朝鮮咸興歩兵幹部候補生長橋町小野正二君は大阪に於て再検査の上合格昨六日大阪港出帆の美吉野丸で朝鮮に向つて出發したと

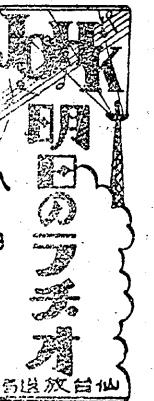
# 賭博教員が

## 辭表を提出

### 篠崎湯本校長も

### 相次いで進退伺

昨報賭博罪に依り罰金處分に附された吉井昇(九)假名は目下磐崎小學校に教鞭を取つて居り昨日自責の念に堪へず辭表を提出したが一



### 明日のラジオ

今晩は北の風雨模様明日は北の風天氣良くなる見込

### 今晩の部

後六、〇〇 子供の時間  
獨唱 中山梶子 平井英子  
後六、二五 英語講座 鈴木富士太郎  
後七、三〇 講演 福島繁三  
後八、一〇 長唄 隈取安宅  
松芳村伊十郎 其他  
後八、五〇 舞臺劇「忠臣藏」三段目 阪東三津五郎

### 明日の部

大谷友右衛門一席  
後九、三〇 時報 ニューノス 氣象通報 番組預告  
後七、〇〇 基礎獨語講座 (三十四) 橋本忠夫  
後九、一〇 料理献立「牛豚肉料理」宮城縣食肉協

### 會發表

前二、三〇 家庭講義「十二月月茶の湯歳暮茶の湯」懷石料理法  
後三、〇五 和洋合奏 長唄越後柳子日活オーケストラ  
後二、〇〇 家庭講座「南阿の話」關千秋  
後六、〇〇 子供の時間 中山梶子イしやれ鬼二 平井英子イ獨木船中山普平 作曲伴奏「青い鳥」管絃樂團  
後六、二五 英語講座(五)

の二)鈴木富太郎  
後七、三〇 講演 一篇農青年を紹介す 日本青年團常務理事 福島繁三  
二我等の体験大石俊雄外六名  
後八、一〇 長唄 隈取安宅 松芳村伊十郎 外大勢  
後八、四〇 哥澤一時雨ふる 二水さし 三紺の前かけ 唄哥澤芝鶴  
後八、五五 舞臺劇 假名手本「忠臣藏」三段目 第三日

# 墓守の爺さんが

## 便壺に墜落死亡

川部村大字治部字鳴澤墓守中島龜吉(七)は去る五日午前九時頃用便中腦溢血を起し便壺に墜落死亡した

### 平職業紹介所報告

求人を求める方  
△雑夫 二十五才以下 月十圓 外面談(江名町某)  
△商店雜役 三十才以下 委細面談(小名濱町某)  
△旅館番頭 三十前後 尋卒程度 給料面談(湯本)

### 回職を求める方

△事務員 二十三才 佑賢 卒 給料面談(好間村某)  
△給仕 十七才 中三修 給料面談(平町某)  
△小使 四十八才 商三修 給料面談(平町某)  
△土工 四十三才 尋卒 給料面談(山形縣某)

# 美味! 芳醇!

# 宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

# 耳鼻咽喉科専門 大和田醫院

平町南町 電話一〇七

# 銘劍秘笈

【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴演  
山本英春畫

第一百八回 徳川家に崇る村正

家の亂は閨門

元龜元年家康公には遠州引間にお移りになり此舊城を改築して之を濱松城と名付け、公の本城と致されまして岡崎の方は嫡子信康公の御居城となつたからこゝで岡崎三郎信康と呼ばれることになつた、然るに昨日の味方が今日の敵となり今日の敵が又明日は味方となるのが戦國の習ひでございます、仔細あつて其の後徳川家は武田家と不和となり織田家と親交になりました所が家康公の夫人築山御前は嫉妬の深い方であり、早い大將で御愛妾が数人出来、お子様も多く儲けられましたので、愈々築山御前は嫉妬の炎熾になり、遂にはあらう事が女の身として岡崎に於て武田家と容易ならざる機密を通じて徳川の御家を滅ぼさんと云ふ恐ろしい計畫を致しました、その企てと云ふのは外ではございませぬが、其頃武田の家臣に日向大和守と云ふ者の娘、是は國色の聞えある美人でございませぬが、如何なる譯か甲州にも身を置く事が出来ず、迷ひ迷つて



河國岡崎に参り、御家臣の許に潜み時の到るを待つて居りました、其事如何にして築山殿の御耳に入りましてか、その御家臣の手から大奥へ召され御覽になると年の頃は十六、七芙蓉の毗丹花の唇、實に嬋娟たる美

お近附をさせると、岡崎次郎三郎殿も其容貌に見惚れ三〇母上には如何なる仔細で此者をばお手許へお召抱へになりましたか初めて對面いたすが頗る美女でござるな」と大層御意に入つた様子故、築山殿ニツコリ笑ひながら

人築山殿も大層御意に叶ひ御手許に於て養女とも思召して、親しくお使ひになりました、然るに岡崎次郎三郎君は覺子の間柄であるから時折は御機嫌伺ひにま出でになります、或時の事右の娘をば母上築山御前より

美人も岡崎次郎三郎殿は家康公の御總領年配も二十の上を二ツ三ツ越し給ひ、水の垂れるやうな美しい公達と前々から申上げて居りますが、之は少々疑問でございませぬ、何故と言へば、徳川家康公といふ方は決して好男子ではない、露磨と狸の間の子の様な御面相だ其上築山御前は家康公の氣に入らない程の不きりよう其人達の子であるから決して好男子ではない筈でこれは餘計な事兎に角御氣性も勝れて居り甲州の武田勝赤も油断ならざる若大將と恐れをなしたと云ふ位のお方彼の婦人も心から底からお慕ひ申して操を正しくお側に侍いて居ります、岡崎次郎三郎殿は母上の御許しと云ひ當人が孤兒と云ふ所から一層不憫も増して晝夜お側を離し給はず、然るに此事何う致してか侍女の口から御臺所の御耳に入りましたこの御臺所と云ふのは織田信長公の姫君で既に御二人のお子まで出来た間柄でございませぬが、甲州の日向の娘が御氣に入つてからは御愛情も何となく薄らぎました様子が扱は何物か我身に勝る花が出来て、斯くは情なうし給ふのではないかと如何に賢しくても女心に只管打案じて居られますと御臺所のお側に小侍従といふ腰元があつて

あれば御手許へお差置になつても宜しうございませぬ母上よりお勧めになりましたので次郎三郎大層な喜び、貴さも賤しきも其の道は又別でございませぬから右の美人をば自分の別殿へ誘ひ、御寵愛なると彼の

其婦人が今にも御臺所のお位に昇るかも知れませぬ夫ゆえ若殿様も此方にお越しがないのでございませぬ、只今の中に其れなる婦人を遠ざけ、元の通り若殿様のお越しになるやう遊ばさなければ貴所様の御身の上にも及ぼしますと申し上げましたから御臺所よくこそ知らして呉れた其れならば折を見て我君へ此身の恨みを述べるであらう」と手ぐすね引いて待つてお在になつた。

## 木村外科科專門院

自炊入院の便あり 平町五丁目目橋 電話三〇九

看護婦急派の求めに應じます 平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

## 孫寅 殿中揚

孫寅 考案の 殿中揚 一般御家庭御惣菜用おでん。鍋焼の材料に最適な美味食品。一本三錢是非御試食を乞ふ。...

お惣菜用 さつま揚 吉原揚 平町一丁目 電話一四一番

専門 産科科 婦人科科 花柳病科科

井坂醫院 入院隨意 平町田町 電話五五九番

旭硝子株式會社製品 赤菱印 板ガラス

製造賣 菓 子 壘 硝子 食器 其他各種

松崎硝子製作所 平町新川町(電話一四二番) 仙臺市榮町(電五九七番)